

本試験前日から当日までの発熱症状への対応について

【3月2日（木）までに】

平熱の高い受験生は中学校に報告 → 中学校は高等学校に事前に相談

【3月5日（日）】

すべての受験生は「体温報告書」に検温結果を記入

(体温報告書は、中学校を通じて事前に配布又は高校教育課ホームページから各自ダウンロード)

<発熱症状あり>

→ こまめに検温し、経過観察する。万が一追試験受験となった場合の手続きを確認する。

【3月6日（月）】

すべての受験生は「体温報告書」に検温結果を記入

<発熱症状なし>

→ 受験会場で「体温報告書」を提出し、本試験を受験

<発熱症状あり>

→ 受験生（保護者）は中学校へ連絡し、追試験申請をするかどうか検討

→ 追試験申請をする場合は病院で受診し、診断書等を用意

→ 平熱が高く、高等学校に事前に相談している場合等、追試験申請をしない場合は、中学校は別室受験を希望する旨を高校へ電話連絡し、「受験上の配慮申請書（様式P）」を高校へFAX等で提出し、別室で本試験を受験

<受付時に体調不良の申し出があった場合、又は発熱症状と思われる体温を記入していた場合>

→ 受験生本人に症状を確認したり、検温したりするなどして、体調を確認

→ 発熱症状が確認された場合は、高校から保護者へ電話連絡を行い、発熱症状があることを伝え、追試験を受験するかどうかを確認

→ 追試験申請をする場合は、受験生を保護者に引き渡す

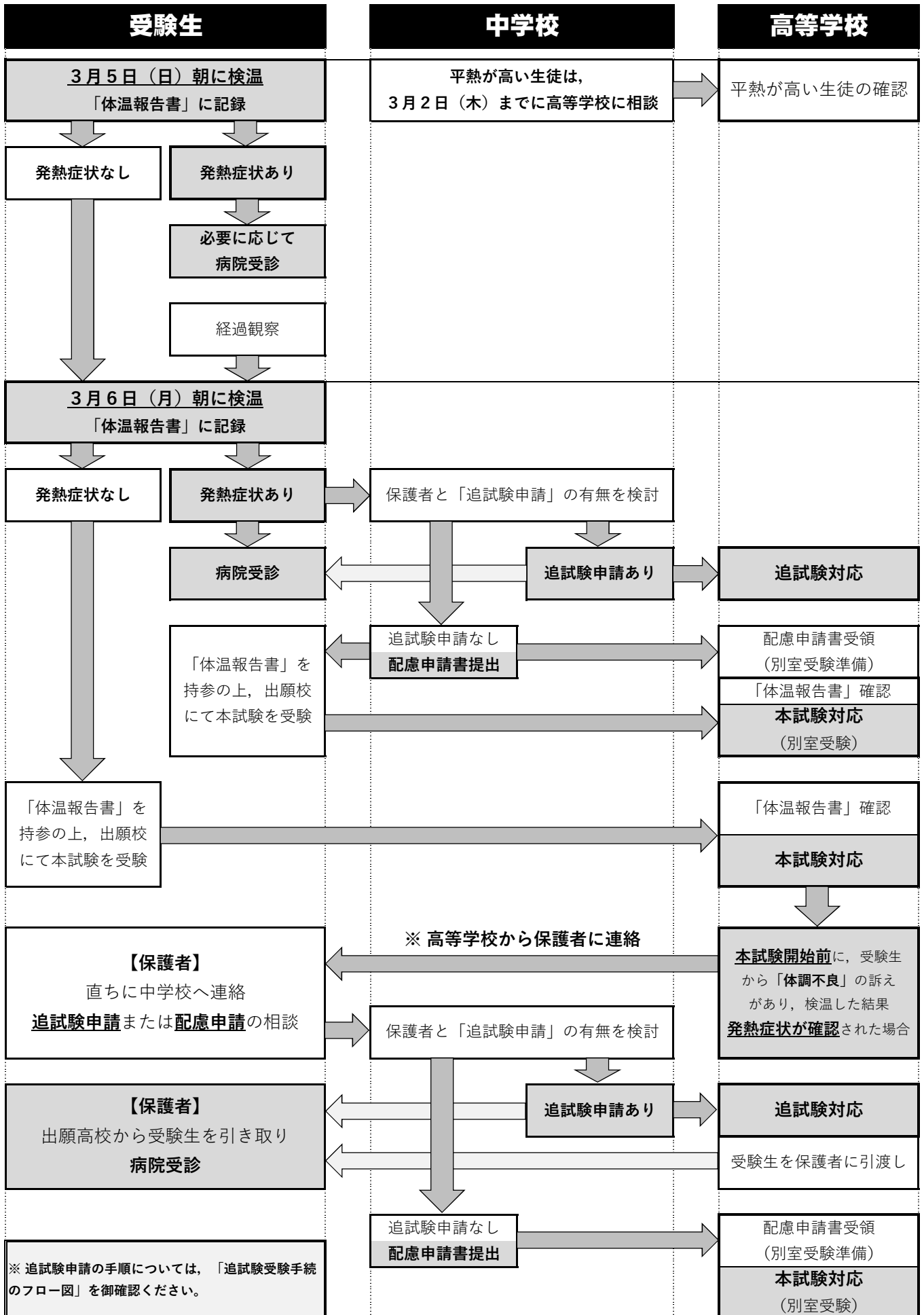
→ 追試験申請をしない場合は、保護者は中学校へ、別室受験を希望する旨を連絡「配慮申請書」を中学校が高校へFAX等で提出し、別室で本試験を受験

※上記のような発熱症状による追試験は通常の追試験申請となる。

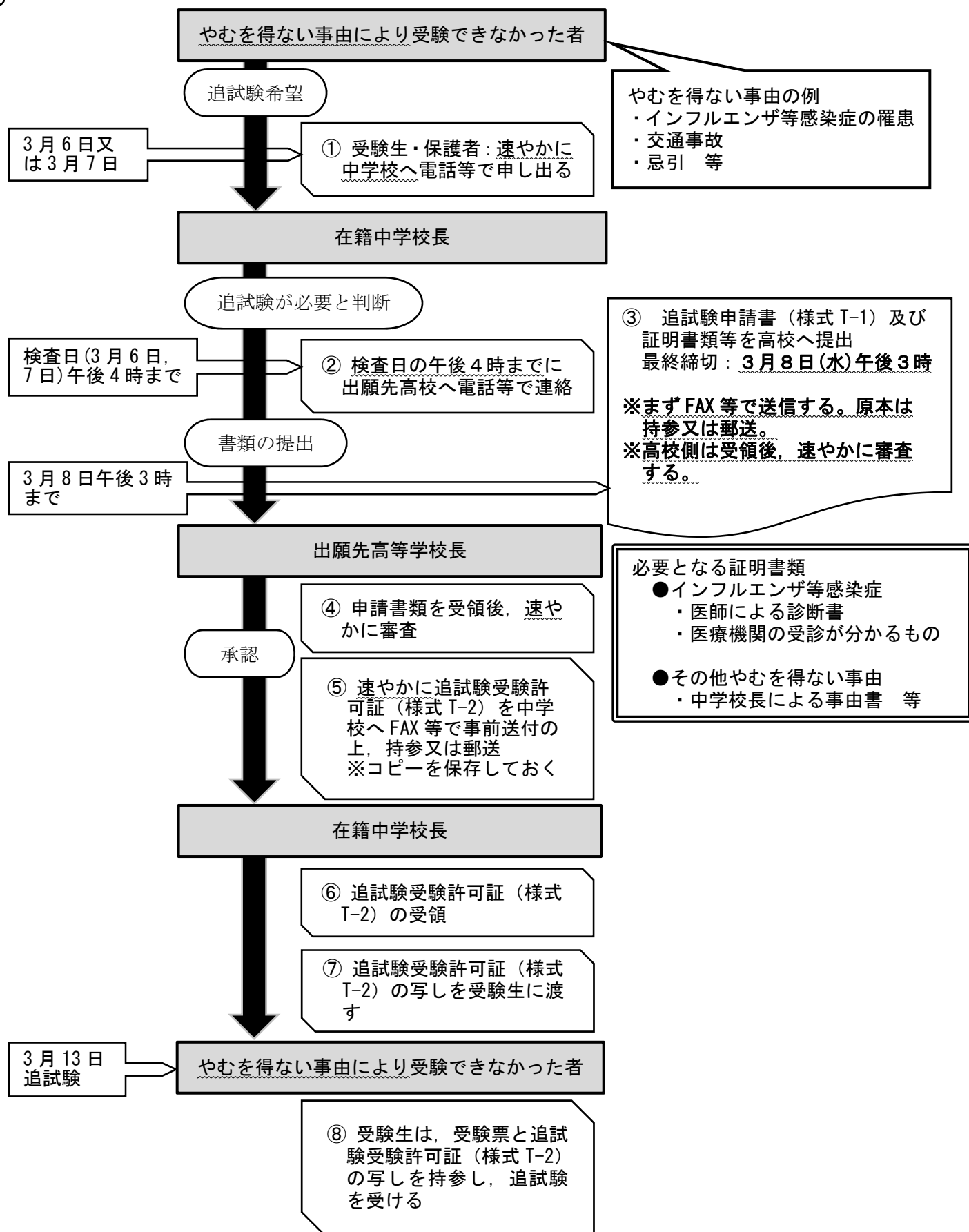
申請の手順については、「追試験受験手続のフロー図」を確認すること。

平熱が高い場合以外は、追試験申請の手続をとること。

本試験前日から当日までの発熱症状対応フロー図



追試験受験手続のフロー図



(様式 T-2)

追 試 験 受 験 許 可 証

令和 年 月 日

_____ 中学校長 殿

_____ 高等学校長 印

令和 年 月 日付で申請のありました追試験については、下記のとおり受験を許可します。

記

受験番号		氏 名	
実施する検査 及び日時		1 学力検査	3月13日
		2 作文・実技・面接	学力検査終了後
			月 日 時 分集合

※ 学力検査の日程は、受験票の裏面を参照のこと。

※ ○が付いている項目が対象となります。

【注】 追試験当日は、受験票と追試験受験許可証の写しを受付で提示してください。

(記入例)

様式 P

受験上の配慮申請

事前協議で配慮事項が確定するまでは、職印を押印せずやりとりすることとし、協議完了後正式に職印を押印し提出する。

●●高等学校長 殿

●●中学校長 氏 名 印

下記のとおり、学力検査・面接等の受験上の配慮をお願いします。

記

氏 名		性別	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日	生
志望学科等	課程		科 (コース)	受験番号	※		
在学(出身) 中学校		卒業見込 (卒業)の年月		昭和 平成 令和	年 月	卒業見込 卒業	
配慮の内容	海外帰国者等 <input checked="" type="checkbox"/> 身体上のこと等 (発熱) その他 ()						
配慮の 希望 事項	施設面	別室受験					
	検査方法	特になし					
	その他	特になし					
配慮が必要な理由	発熱症状があるが、平熱が高いことによるもの。 万が一のことを考慮して配慮を希望します。						

- <注> 1 「受験番号」の欄については、記入しないこと。
 2 「配慮の内容」の欄については、該当する項目を で囲み、() 内には、その具体的な内容を記入すること。
 3 配慮の希望事項の記入について
 (1) 施設面については、検査会場における検査室、座席等の希望を記入すること。
 (2) 検査方法については、拡大文字での検査、英語の放送による検査における直接検査、検査時間の延長等の希望を記入すること。
 (3) その他については、特別な器具の持込や薬の服用など、上記(1)、(2)以外の配慮を希望する場合に記入すること。
 (4) 「配慮の希望事項」の欄は、受験上の配慮に関する記入欄であり、選抜に関する配慮等については、記入しないこと。
 4 中学校長は、配慮申請の妥当性を示す資料(診断書、中学校での生活の様子や配慮した内容等を記載した副申書など)を添付して、志願高等学校長に提出すること。